

1月5日提出資料からの変更点（意見募集の実施結果について）

1 概要

(1) 募集期間

平成30年1月16日（火）から平成30年2月5日（月）まで

(2) 意見書提出者

2名（電子メールでの提出2名）、意見総数26件

2 酒田市総合計画（案）について提出された意見

【全体に対するご意見】 ※考え方を問うご意見 15件

NO.	ご意見（原文）	本市の考え方
1	1月21日付の山形新聞記事で意見公募を知った。ホームページも含め市民多数の衆目の点で 儀礼通過にならないか。	次期総合計画（案）の作成については、2年間で11回の市民ワークショップを重ね、多様な市民の皆様の意見を反映しながら「みんなでつくる」の基本姿勢で進めてまいりました。 なお、意見募集については、1月16日号広報にも掲載しております。
2	基本とする計画は全体的に網羅されていると思われる。しかし、相伴の実施計画が不明でイメージが沸きづらい。	総合計画は、本市の最上位計画に位置付けられるもので、全体を網羅する一方で、どうしても抽象的にならざるを得ない側面があります。具体的な施策については、関連個別計画に定め、着実に進めてまいります。
3	全体的にSDGsの考え方をもっと強く出し、市民に大きな夢と希望を持たせたい。	SDGs（持続可能な開発目標）という視点ではありませんが、次期総合計画では、市と市民の共通の目標として4つの「めざすまちの姿」を定めました。これらは、こんなまちにしたいという市民の思いを形にしたものです。
4	「みんなで考えよう『私にできること』」の着眼点に同感できる一方、人的・物的条件が整わない場合は行政水準のダウンサイジングに繋がりがかねず懸念。	人口減少の縮小社会では、将来的に行政だけでまちづくりを担うことは難しいと考えられます。可能な限り行政サービスを維持できるよう、市民の皆様との協働によりまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

NO.	ご意見（原文）	本市の考え方
5	P D C Aに市民の意向を今後どのような形で取り入れるのか不安。	総合計画の評価については、P D C Aの中で市民に公表しながら進めてまいります。
6	行政との両輪である議会に期待するところ大であるが、市民の代表でもあるだけにステーツマン・シップの発揮どころが見えてこない。	総合計画は、基本的に市が行うべき政策の方向性や施策について掲載するものであり、議会について掲載するものではありません。
7	現状と課題の深部を探ろうとする意欲に物足りなさを感じずる。結果、表面的で上滑りになっている。	紙面も限られており、総合計画の性格上、全項目にわたり詳しい分析などを掲載することができませんが、より詳しい分析を実施しております。
8	規模の適正化や選択と集中による財政の健全化は理解できるが、市街地でも旧町でも同じ市民が住んでいることを忘れてはならない。	当然のことと考えます。コンパクトプラスネットワークの考え方を基本に全ての市民が暮らしを維持できるようなまちづくりを進めてまいります。
9	山形県庁の中で庄内、酒田の位置づけが年々後退しているように思われる。打開策を早急に講じていただきたい。	山形県に対しては、庄内地域の振興を連携して進めながら、更に必要な事項については要望していきます。
10	計画を作るのも実行するのも結局は人材。市民ファーストの考えがあれば人財となる。	「行財政運営の方針」において、市民目線で地域と協働することができるコミュニケーション力・コーディネート力等を兼ね備えた人材の育成が重要という認識を示しております。
11	酒田市が内外から愛着を持たれ、選ばれるまちづくりを。子育て、教育、暮らしやすさ等。	4つの「めざすまちの姿」では、酒田が大好きな市民が訪れた人をおもてなしすることができたり、どんな人も自分らしく暮らすことができたりする、そんな将来像を描いており、ご指摘と方向性を同じくするものと考えます。
12	地域の衰退が著しい。そのため市全体の活力が失われている。	人口減少の縮小社会においては、本市に限った課題ではありませんが、人口減少への対策を最重要課題として進めながら、産業の振興、市民が安心して暮らすことができるまちづくりを進めております。

NO.	ご意見（原文）	本市の考え方
13	実施計画も同時に計画化されるとすれば、事業費の入らない事業名程度の列挙は可能か。	総合計画は、基本計画の5年間で取り組む主な施策を掲載しております。実施計画は策定していませんが、具体的な事業は個別計画に委ね、推進してまいります。
14	総合計画にカラー写真をふんだんに取り入れていただきたい。	読みやすくわかりやすい製本レイアウト等に努めてまいります。
15	各世帯にダイジェスト版を配布していただきたい。	全戸配布は予定しておりませんが、市広報で特集記事を掲載する予定です。なお、出前講座等で周知を図ってまいります。

【各政策に対するご意見】 ※考え方を問うご意見 8件

NO.	ご意見（原文）	本市の考え方
1	【第3章 政策2】 ジオパークによる明確なターゲットで価値を発信する取り組みとは。	一例として、地域にゆかりのある山岳写真家の講演会やモニターツアーの実施など、「写真のまち・さかた」をアピールするような取り組みなど、今後は対象者がある程度絞り込んだ企画が必要と考えております。
2	【第3章 政策2】 国内外の都市との交流は、派手さがある一方、市民の生活向上や暮らしやすさに結びつくかという一過性が否めない。	国内外の都市との交流は、本市の魅力向上に資するものであり、交流人口の増加などにより、市民の生活向上に結びつけるよう努めてまいります。
3	【第4章 政策1】 高齢化、少子化に伴い、医療と福祉が大きな課題となる。包括ケア、暮らしの足、マンパワー等に負担感を感じない具体策を早急に期待したい。	人口減少の縮小社会では、将来的に行政だけでまちづくりを担うことは難しいと考えられます。市民の皆様と一緒に安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。
4	【第4章 政策1】 障がい者が健常者と共に協同して暮らすためには、健常者から見た計画だけでなく、障がい者を理解し自分自身が障がい者となった時のことを考えて、障がい者がもっと住みやすくなるような総合計画の策定をお願いしたい。（総合計画から障がい者福祉計画に反映できるように）	総合計画においては、いわゆる障害者差別解消法の理念に基づき、今後の方向性において共生社会の具現化を図るとしてまいります。ご意見の通り、本計画の考え方に従って、今後の障がい者福祉計画を策定してまいります。

NO.	ご意見（原文）	本市の考え方
5	<p>【第5章 政策3】</p> <p>防災行政無線を活用しながら、情報伝達手段の多重化を図るとの事だが、それはいつまでか。</p> <p>災害や不測の事態は何時来てもおかしくない。早急な点検・整備と充実を強く望みたい。</p> <p>時報（6時、12時、17時）をオルゴールでお知らせしているが、標準時とズレが生じ間抜けくさい。</p>	<p>情報伝達手段の多重化については、防災行政無線のほか同様の緊急情報が伝達できる仕組みとして、テレビ・ラジオの各種媒体等に瞬時に避難勧告等の情報を伝達するＬアラートシステムなどの配備など、既に取り組んでいることから、今後は、防災行政無線が聞こえない旧市内への防災ラジオの普及・拡大を図るとともに、今後も継続的に取り組んでいきます。</p> <p>サイレンやオルゴール等での時刻のお知らせは、防災行政無線を活用した放送をしています。なお、防災行政無線は、同一時間に同一の内容しか流すことができないことから、同じ時間帯に別の内容で流す局（地域）が重なった場合は、放送時間を調整して対応してきたところです。現在、時刻を優先し統一する方向で各地域と調整を進めています。</p>
6	<p>【第5章 政策5】</p> <p>酒田市全体を一括りにすることなく、地域特性を踏まえた施策が望まれる。そのためにはダブルスタンダードの考えが必須。</p>	<p>地域特性を踏まえた施策については、関連個別計画に位置付けしている過疎地域自立促進計画及び山形県離島振興計画で進めてまいります。</p>
7	<p>【第5章 政策5】</p> <p>山村振興のための具体策が見えづらい。単に自然を活かす的な考え方では衰退するばかり。</p>	<p>ご指摘のとおりの方で、過疎地域と離島に関する取り組みを、第5章の政策5として位置づけました。山村振興法による「振興山村地域」に指定されている大沢、日向、田沢、北俣の各地区については、同法に基づき施策の展開を検討します。</p>
8	<p>【第6章 政策3】</p> <p>安田バイパスは合併支援道路であったはず。それも構想が出てから50年も経過しようとしている。如何なる理由があろうとも尋常とはいえない。怠慢の謗りを免れることはできない。</p> <p>事実上、市街地と八幡地域の分断を進めている。スピード感を持って取り組んでほしい。</p>	<p>国道344号の安全で円滑な通行には、安田バイパスの一日も早い完成が必要と考えております。平成27年度において正式に事業化され、具体的な工事に向けた作業が進められております。今後も沿線地域住民や関係機関・団体と協力しながら、早期開通に向け、引き続き強く要望を行ってまいります。</p>

【各政策に対するご意見】 ※具体的修正意見 3件

NO.	ご意見（原文）	本市の考え方
1	<p>【第4章 政策1】 「現状における課題」の一項目 障がい者※4が地域社会において積極的に参加・貢献できるよう、必要に応じたサービスが提供される体制が整いつつありますが、<u>障がい者の自立については、働く場が少ない状況にあります。</u> 下線を以下のように修正。 いまだに障がい者に対しての偏見、差別が生じており、障がい者の就労の場や理解が進んでいない状況にあります。</p>	<p>修正しません。 内閣府の障害者に関する世論調査においては多くの方が偏見や差別はあると思っ ていることが明らかになっておりますが、障 がい福祉計画策定におけるニーズ調査で は、障がいにより一般就労できる状況にな いの回答が多数を占めており、障がいの 状態にあった就労の場が少ないことが課題 と考えております。</p>
2	<p>【第4章 政策1】 「今後の方向性と主な施策」の一項目 高齢者や障がい者等の抱える様々な課題 に……の箇条書き欄への追加 追加の文章 ・障がい者に対する差別や偏見の解消を推 進する。</p>	<p>修正しません。 いわゆる障害者差別解消法の理念に基づ き、共生社会の具現化を図るとした今後の 方向性においては、当然のことながら差別 や偏見の解消といった事柄も包含しており ます。ご意見頂いた内容については、現障が い者福祉計画において、障がい及び障がい 者への理解の促進として記載しております。</p>
3	<p>【第4章 政策1】 「※4 障がい者の注釈」 国の法令等における「障害」、本市の運用 による「障がい」、「しょうがい」を提唱する 考え方など、表記についての観点は様々で、 社会側にある課題として捉えた場合など、 表記の受けとめ方が異なるため丁寧な議論 が必要であり、本計画では従来から本市で 運用している表記を使用するもの 下線部を「で総称する」に修正。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。 国の法令等における「障害」 ↓ 国の法令等で総称する「障害」</p>

3 その他事務的整理としての修正

意見募集を受けてではありませんが、事務的な整理としてわかりにくい表現等を以下のように修正いたします。

NO.	修正前	修正後
1	【表紙】 ～酒田市大繁盛計画～	削除 ただし、印刷製本時にサブタイトルとしてレイアウトを検討します。
2	【P 1】 対処療法	対症療法
3	【P 4】 酒田の魅力発信が上手にできるまち	酒田の魅力を上手に発信できるまち
4	【P 5】めざすまちの姿を表す合言葉 どんどんしゃんしゃん 賑わいも暮らしやすさも共に創る（ともに つくる）公益のまち酒田	「どんどんしゃんしゃん」を削除
5	【P 8】 （ウ）人口の自然増減、社会増減の表に出典 の記載がない。	（出典：山形県の人口と世帯数）と追記
6	【P 8】（エ）酒田市人口ビジョン 平成27年度に、人口減少問題に関する認識を共有し、人口の将来展望を示す「酒田市人口ビジョン」を策定しました。	平成27年度に人口減少問題について分析し、その認識を共有するため、人口の将来展望を示す「酒田市人口ビジョン」を策定しました（出典：まち・ひと・しごと創生総合戦略）。
7	【P 16】 始めて間もない仕組みであるため	始めて間もない取り組みであるため
8	【P 23】 専門家の助言をいただきながら	専門家の助言を得ながら
9	【P 23】 児童生徒に社会の一員として 特別な支援が必要な児童生徒には	子どもたちに社会の一員として 特別な支援が必要な子どもたちには
10	【P 25】 指導者育成のための研修会や講習会を実施	指導者育成に向けた研修会や講習会の実施
11	【P 28】 社会経済の構造が変化し、社会で求められる能力も変化していくことが見込まれており、社会の変化に対応した学習機会を提供していく必要があります。	社会構造の変化に伴い、求められる能力も変化していくことから、そこに対応した適切な学習機会を提供していく必要があります。

NO.	修正前	修正後
12	【P 2 8】 独自の都市戦略として政策を実施することが求められています。	独自の都市戦略とすることが求められています。
13	【P 2 8】 新しい視点の提供が必要とされています。	新しい視点が必要とされています。
14	【P 2 8、3 0】 【知（地）の拠点としての図書館へ】	「へ」を削除
15	【P 2 9】 I C Tへの対応をはじめとした利用しやすいシステム	I C Tへの対応等による利用しやすいシステム
16	【P 2 9】 市民の方が気軽に触れてもらうための展示方法	誰もが気軽に触れることができるような展示方法
17	【P 2 9】 活動の場の提供のため、安全で快適な施設を提供するための適正な管理等が課題となっています。	安全で快適な活動の場を提供するため、施設の適正な管理等が課題となっています。
18	【P 3 0】 文化芸術活動を行う環境、誰もが文化芸術に親しむことができる文化的環境の整備	誰もが文化芸術に親しみ、活動を行うことができる環境の整備
19	【P 3 0】 交流を積極的に推進します。	交流を推進します。
20	【P 3 0】 公演会などへの参加機会を促進します。	公演会などへの参加を促進します。
21	【P 3 3】 郊外商業施設、インターネット通販 ⇒【P 8 3】6-1には、ロードサイド型商業店舗、e コマースという表記がある。	ロードサイド型商業店舗 インターネット通販等に統一
22	【P 3 5】 地域需要と公益大の強みを踏まえた新たな学部設置検討にかかる連携を推進します（再掲）。	文頭に「企業立地における人材確保の観点から、」を追加
23	【P 3 6】 【使いやすい酒田港の推進】	【使いやすい酒田港に向けた取り組みの推進】

NO.	修正前	修正後
24	【P 3 6、 3 7】 コンテナヤード、ポートセールス活動	注釈追加
25	【P 3 9、 4 0】 マザーズジョブサポート庄内	注釈追加
26	【P 4 2、 4 3】 〇〇の支援（10か所）	〇〇への支援
27	【P 4 4】 本市の森林の半数は、樹齢51年以上の伐採適齢期を迎えている	本市の森林の半数以上は、樹齢50年を超えて伐採適齢期を迎えている
28	【P 4 4】 森林災害の防止など多面的機能が損なわれる恐れがあります。このような現状から、森林の整備や活用を図る	森林災害の防止など多面的機能が損なわれる恐れがあることから、森林の整備や活用を図る
29	【P 4 5】 公共施設の木造化・木質化を図り、	公共施設の木造化・木質化等による
30	【P 4 5】 〇〇の支援（3か所）	〇〇への支援
31	【P 4 7】 資源の管理と併せて、つくり育てる漁業の確立が課題となっています。	資源の管理とあわせて、つくり育てる漁業の確立が課題となっています。
32	【P 4 8】 〇〇の支援（3か所）	〇〇に対する支援
33	【P 5 0】 長年交流してきた生活クラブ生協会員	食材の生産地としての本市と縁が深い生活クラブ生協会員
34	【P 5 1】 移住者のネットワーク作りの支援	移住者のネットワーク作りへの支援
35	【P 5 1】 再掲となる主な施策（4か所）	（再掲）を追記
36	【P 5 3】 外国人観光客の来訪者数が増加していますが、	全国的には外国人観光客の来訪者数が増加していますが、
37	【P 5 3】 案内することができるようになる市民を増やす必要	案内することができる市民を増やす必要

NO.	修正前	修正後
38	【P 5 7】 クルーズ船寄港を市内の経済波及効果につなげます。	クルーズ船寄港による市内への経済波及効果を高めます。
39	【P 5 8】 それぞれの実情に応じた取り組みを構築しながら、地域づくりに取り組んでいく必要があります。	取り組みを重ねながら、地域づくりを進めていく必要があります。
40	【P 5 8】 住居や生活など経済的に困窮するだけでなく	住居や生活等における経済的な困窮だけでなく
41	【P 5 9】 仕組みづくりや活動の支援	仕組みづくりや活動に対する支援
42	【P 6 5】 連携が強化されてきていますが、多職種間の相互理解や情報共有が十分にできていないなど、必ずしも円滑に連携がなされていない状況があります。	連携強化が進んでいますが、多職種間の相互理解や情報共有が十分でなく、必ずしも円滑に連携がなされていないケースもあります。
43	【P 6 7】 行政施策に欠かせない協力関係が築かれ、	行政施策に欠かせない協力関係にあり、
44	【P 6 7】 多くの分野でコミュニティ振興会や自治会に寄せられる期待も大きく、	多くの分野でコミュニティ振興会や自治会に寄せられる期待が大きく、
45	【P 6 7】 重層的な地域づくりの仕組みづくりを進めます。	重層的な地域づくりを進めます。
46	【P 6 8】 地域内の活性化に向けた話し合いや、	地域の活性化に向けた話し合いや、
47	【P 6 8】 取組内容に応じて	取り組む内容に応じて
48	【P 6 8】 過疎地域自立促進特別措置法で「八幡地域、松山地域、平田地域」が位置付けられている	過疎地域自立促進特別措置法で「八幡地域、松山地域、平田地域」が指定されている
49	【P 7 3】 死傷者を限りなくゼロにするため更なる防火活動を図る必要があります。	死傷者を出さないため、防火活動を徹底する必要があります。

NO.	修正前	修正後
50	【 P 7 3 】 住民に対して 住民の防災に対する 住民に避難方法を周知し	市民に対して 市民の防災に対する 市民に避難方法を周知し
51	【 P 7 4 】 住民自らが意識を持ち	市民自らが意識を持ち
52	【 P 7 6 】 定時定路型	定時定路線型
53	【 P 7 6 】 日本海に厳しい寒気が南下し	削除
54	【 P 7 9 】 市内の中でも	市内でも
55	【 P 7 9 】 人口の減少が、地域におけるさまざまな課題となって現れています。	人口の減少によって様々な課題が生じています。
56	【 P 7 9 ～ 8 0 】 文章中の（出典：〇〇）（3か所）	削除
57	【 P 8 3 】 庄内地域の中核都市として、ひと・もの・情報が集う都市として発展してきました。	ひと・もの・情報が集う庄内地域の中核都市として発展してきました。
58	【 P 8 3 】 ロードサイド型商業店舗 e コマース	ロードサイド型商業店舗 インターネット通販等 に統一
59	【 P 8 3 】 高速交通網の整備、ITなどの技術革新等により官庁、民間企業の統廃合等による都市機能の流出が進んでいます。	高速交通網の整備、IT化の進展等による官庁や民間企業の統廃合が一因となり、都市機能の流出が進んでいます。
60	【 P 8 3 】 経済面、財政面、環境面等において健全で持続可能な都市経営をどう構築していくのが求められています。	経済面、財政面、環境面等において健全で持続可能な都市経営が求められています。
61	【 P 8 5 】 e コマースの注釈	削除

NO.	修正前	修正後
62	<p>【P86】</p> <p>今後、地域と地域の連携を深めることが重要となり、地域間を結ぶ高速鉄道や高速道路等の交通網の整備が必要不可欠です。</p>	<p>今後、地域と地域の連携を深めることが重要となることから、地域間を結ぶ高速鉄道や高速道路等の交通網の整備が必要不可欠です。</p>
63	<p>【P89】</p> <p>今後は水洗化率の更なる向上が課題となっています。</p>	<p>「今後は」を削除</p>
64	<p>【P90、91】</p> <p>【地域課題解決におけるICT～】</p>	<p>【地域課題解決に向けたICT～】</p>
65	<p>【P97】(2) 計画の確実な実行に向けて具体的な手段である事務事業が、効率的でかつ効果的にその効果を発揮するように、また、市税をはじめとした財源を</p>	<p>具体的な手段である事務事業を効率的でかつ効果的に執行し、成果を上げていかなければなりません。また、市税をはじめとした財源を</p>
66	<p>【P97】(2) 計画の確実な実行に向けて C h e c k (検証)</p> <p>決算：事務事業実施年度終了後、その成果を検証し、評価します。</p>	<p>C h e c k (検証)</p> <p>決算：事務事業実施年度終了後、その成果を検証し、評価します。成果指標の状況については、広報などを活用して公表します。</p>